

スポーツ川越

発行 川越市スポーツ協会



コロナ禍におけるスポーツの促進に向けて

川越市スポーツ協会 副理事長 根岸 督好



お健やかに初春をお迎えのことと存じます。

さて、昨年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で直前までいろいろな議論が交わされました。開催はいた

しましたが、ほとんどの競技が無観客であったり、一部感染者が出たため出場を辞退したりと異例の大会となりました。国内スポーツにおいても新型コロナウイルスの影響は大きく、国体やインターハイなども中止や延期が続きました。

これらスポーツ以外でも、コロナ禍における健康二次被害（運動不足）が懸念されています。子どもは、学校の休校や自宅での学習により運動をする機会が減少、仕事されている方々もテレワークで一日中座りっぱなしであったり、

また高齢者も人との接触を避け外出自粛で家にこもりがちとなることからさらに筋力の低下などが指摘されており、スポーツについて、人の関わり方は十人十色です。

競技者としてトップを目指す者、趣味程度にその競技を行う者、健康を維持するため体を動かす方法としてスポーツをする者、さらにスポーツ観戦のみが趣味の方など様々です。

しばらくは、まだ新型コロナウイルスの共存した生活が考えられますが、今こそスポーツの順番です。密閉・密集・密接を避けるといった「新しい生活様式におけるスポーツのあり方」がスポーツ庁からも出されております。今後、持続可能なスポーツを通じた健康増進に資する取り組みなどを行いながら、スポーツへの参画を促進し、活力ある長寿社会の実現を目指す活動の一翼を川越市スポーツ協会が担っていかれたらと思っております。

第74回 川越市民体育祭

陸上競技協会

- 日程：令和3年8月1日(日)
- 会場：川越運動公園陸上競技場
- 参加者数：913名

スケート連盟

- 日程：令和3年7月10日(土)
- 会場：さいたまアイスアリーナ
- 参加者数：62名

レクリエーション協会(民踊連盟)

- 日程：令和3年10月18日(月)
- 会場：川越武道館
- 参加者数：56名

なぎなた連盟

- 日程：令和3年7月24日(土)
- 会場：川越武道館
- 参加者数：19名

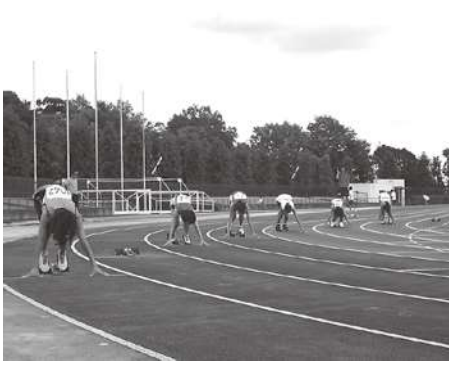
グラウンド・ゴルフ協会

- 日程：令和3年9月21日(火)
- 会場：安比奈親水公園
- 参加者数：401名

市民体育祭(一般)陸上競技の部は、感染症対策として、参加選手、競技役員全員に健康チェックシートの提出をお願いしました。

また、入退場口の一方通行化、各部署へのアルコール消毒液の設置等を行い、無観客にて小学生、中学生、高校生、一般の参加で実施しました。

各種大会が中止となる中、選手達は、市民体育祭で日頃の練習の成果を発揮し、全力で競技に挑む姿が印象的でした。



スケート連盟



コロナ禍の中、健康チェックやマスク着用、アルコール消毒等、万全の形での感染防止対策を行い、2年ぶりの大会で参加者を縮小しての開催となりました。

市民体育祭は川越クラブの登録選手と一般参加者に分かれて競技が行われました。

競技の部は、登録選手は500mで、一般参加者は1000mの競技で熱戦が繰り広げられ、その他貸し切り時間内でアトラクションなど楽しく一日を過ごし、無事終了することができました。

レクリエーション協会(民踊連盟)

レクリエーション協会(民踊連盟)の市民体育祭は、市内各地区の会員さんが参加をしております。最初に岩田会長の挨拶、次に川越音頭と川越まつりの2曲で始まり、埼玉の川口小唄、吉田よいとこ音頭と続きました。

その次に全国の民踊で、みちのく盆唄、讃岐うどん音頭、江の島ヨット音頭、鴨川おけさと続きました。

今回の市民体育祭は、指導者が輪の中心となり、皆さんも笑顔で輪となり、健康でいられることを目標に3時30分に終了となりました。



なぎなた連盟

今回の市民体育祭は、コロナによる日程変更や感染症対策の実施など不安の中での開催となりましたが、演技競技、試合競技では、元気な声が聞かれ、秘めた闘志が感じられました。特にジュニアの成長はめざましく、今後の活躍が楽しみです。

リズムなぎなたでは、音楽や振り付けがクラブ毎に特徴的でそれぞれの良さが表現されており、皆で楽しむことができました。



グラウンド・ゴルフ協会

予定されていた9月18日は、台風の影響で21日に延期となりました。

コロナ禍の中での大会となりましたが、高齢者が多く、ワクチン接種を終わった人がほとんどで、感染症対策をして楽しくプレーすることが出来ました。

男性は67打、女性は69打と素晴らしい成績での優勝でした。

また、屋外で思う存分プレーできることに感謝した大会となりました。





加盟団体紹介

剣道連盟

剣道連盟には市内各地に所属の団体があり、令和2年10月に耐震改修工事が完了した川越武道館を中心として、各小中学校の体育館等で稽古を行っています。

剣道の稽古は「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」という剣道の理念を目的として行っています。コロナ禍においてもマスクと面の内側にシールドを着けて、子供から高齢者まで感染防止対策を徹底して稽古を続けています。



弓道連盟



弓道競技は、「近的」と「遠的」があり、「近的」は的までの距離が二十八メートルでの大きさが三十六センチ、「遠的」は的までの距離が六十メートルでの大きさが一メートルです。

また、個人戦と団体戦があり、団体戦は三人か五人でチームを組み、順位は四本または八本の点数で決定します。

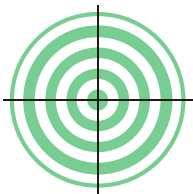
弓道は道具を使う武道で、弓や楯(右手につける手袋の様なもの)の使い方や身体全体を左右対照的に動かすことを修練します。

ライフル射撃協会

ライフル射撃は、体力を結集し銃を最大限に安定させ雑念を捨て全神経を集中し、10m競技では直径0.5ミリ、50mでは約10ミリの標的を狙う(10点圏)。

当協会では、5種目19競技を行っています。エアライフルから装薬銃、ピストル競技まで幅広く行っております。

資格や年齢制限の無い国体競技でもある弾の発射されないピュムライフル射撃を市民参加、普及の為に取り入れようと考えております。



少林寺拳法協会

少林寺拳法協会は、小学生やシニアの方まで幅広い年齢層の方が活動しています。

初心者から始める方が多いですが、各支部の先生方の指導でわかりやすく、楽しく活動しています。

少林寺拳法の修練は、技の技術を向上させるだけではなく、体を動かすことで、健康増進につなげ、健康寿命を延ばすこともできるところが特徴です。

競技大会は毎年、川越市農業ふれあいセンターで行っています。



スポーツ少年団

川越市スポーツ少年団は、令和3年度で46年目を迎えました。

構成種目は、サッカー、野球、バレーボール、バスケットボールをはじめ、陸上や合気道まで、幅広く活動しています。

全49団、1,679名の団員は、各単位団の活動だけでなく、川越市スポーツ少年団本部開催の体育祭(5月)、体力テスト会(9月)、新春マラソン大会(1月)へ参加し、団や種目を越え、交流をしています。



川越市マレットゴルフ連盟の歩みと現在の活動状況

川越市マレットゴルフ連盟 会長 内田 宗一

マレットゴルフとは、ステイックとボールを使用して、決められた打ち出し地点から、できるだけ少ない打数でボールをホールに入れることを競う競技です。

昭和52年に福井県で考案され、昭和56年に長野県で講習会が開催され、全国に普及されました。従いまして、福井県で生まれ、長野県で育ったスポーツです。

川越市のマレットゴルフは、長野県から川越市に移住された、熊谷龍男・すみゑご夫妻が、入間川河川敷の上戸緑地内の一角に、マレットゴルフ場の完成を目指し挑



まれました。そこに近隣の同士が加わり、みごと平成4年5月に3ホールが、10月には18ホールが完成、川越市マレットゴルフの基礎となり、その後、隣接の霞ヶ関東緑地内に18ホールが整備されました。

当連盟は、マレットゴルフを生涯スポーツとして位置づけ、技術の向上を図るとともに、性別・年齢を超えて仲間を広げ、健康で明るい地域社会を創ることを目的として活動しております。

かすみコースは、河川敷であるため、幾度も台風にみまわれ、コースを根こそぎ持ち去られていくことも数え切れないほどありましたが、その都度、会員・川越市の協力で復旧してまいりました。

今福コースは、地元地権者の協力により、林間コースとして平成8年11月に完成し、現在では、かすみコース36ホール、今福コース36ホールの本格的なコースで、約200名の会員が、スポーツとして、心身共にすがすがしく楽しんでいきます。

川越市での大会は、メインとして、かすみコースでの関東選手権

大会（参加者約300名）及び今福コースでの小江戸川越ペーパー大会（参加者約150組）があり、その他、県内外での大会に、年間12回ほど参加し、当連盟の選手は、好成績をあげております。

今後の目標については、JRC川越線と東武東上線の間位置する入間川河川敷の霞ヶ関東緑地内に新コースの早急な新設をお願いしたく思っております。

また、マレットゴルフが国体新種目に参入し、将来は、オリンピックにも参入できる日を期待しております。



連盟・協会 問い合わせ先一覧

団体名	連絡責任者
野球連盟	和 由 昌 勇
卓球連盟	新 井 久 仁 子
ソフトテニス連盟	野 口 曉 則
バレーボール連盟	矢 島 信 宏
バスケットボール連盟	永 濱 尚 人
サッカー協会	坂 代 曉 生
柔道連盟	笹 由 裕 裕
剣道連盟	戸 由 雅 裕
弓道連盟	榎 本 博 博
空手道連盟	山 下 和 宏
陸上競技協会	岩 瀬 善 彦
水泳協会	野 口 健 太
スキー連盟	松 本 陽 介
クレー射撃協会	小 原 征 男
ライフル射撃協会	西 川 仁 仁
スケート連盟	大 貫 了 了
体操連盟	大 塚 賢 一

団体名	連絡責任者
小学校体育連盟	藤 木 鼓 人
中学校体育連盟	内 谷 雄 大
高等学校体育連盟	飯 野 勝 子
レクリエーション協会	矢 部 範 子
バドミントン連盟	平 岡 和 子
少林寺拳法協会	鍛 治 秀 樹
ソフトボール協会	関 口 竜 太郎
テニス協会	川 尻 康 夫
なぎなた連盟	栗 原 敦 子
ラグビーフットボール協会	岩 由 嗣
ゲートボール連合会	石 由 穂 穂
グラウンド・ゴルフ協会	由 中 穂 穂
ダンススポーツ連盟	中 野 廣 司
ゴルフ協会	神 由 賢 志
エアロビック連盟	二 戸 まさみ
マレットゴルフ連盟	内 田 宗 一